

## 福井県に適するイネ-ルックサイレージ 専用品種

### 1 はじめに

イネホールクロップサイレージ（以下、イネWCS）の生産が拡大していますが、主に食用品種のため収量性が低くなっています。そこで、本県におけるイネWCS専用品種の有望品種を選抜しました。

### 2 中晩生品種「北陸 193 号」

出穂期は、同時期（4月下旬）に移植したコシヒカリの出穂期より13日遅い8月上旬です。またイネWCS用稲の収穫時期である黄熟期（出穂後約30日）は9月上旬です。原物収量は10aあたり5.8トン、乾物収量は2.2トンです。全長は122cmでコシヒカリよりわずかに低いです。黄熟期における茎葉部の乾物中糖含量は3%で、発酵品質を示すV2スコアは88点と高く良質です。

### 3 晩生品種「はまさり」

出穂期はコシヒカリより34日遅い8月下旬で、収穫時期は9月下旬です。原物収量は10aあたり5.0トン、乾物収量は1.7トンです。全長は121cmでコシヒカリよりやや低いです。黄熟期における茎葉部の乾物中糖含量は約4%と多く、V2スコアは97点ととても高く発酵品質は良質です。

### 4 晩生品種「リーフスター」

出穂期はコシヒカリより34日遅い8月下旬で、収穫時期は9月下旬でした。原物収量は10aあたり5.2トン、乾物収量は2.0トンでした。全長は134cmでコシヒカリより9cm長くなりましたが倒伏はしませんでした。黄熟期における茎葉部の乾物中糖含量は約3%と多く、V2スコアは100点ととても高く発酵品質良質でした。

### 5 技術の効果

北陸193号は遅植えコシヒカリ（5月中旬移植、9月中旬収穫）の刈取前に収穫でき、はまさり、リーフスターは遅植えコシヒカリの刈取後に収穫できます。コシヒカリより北陸193号では約4割、リーフスターでは約3割、はまさりでは約1割増収することができます。（畜試 資源活用G 牧田）

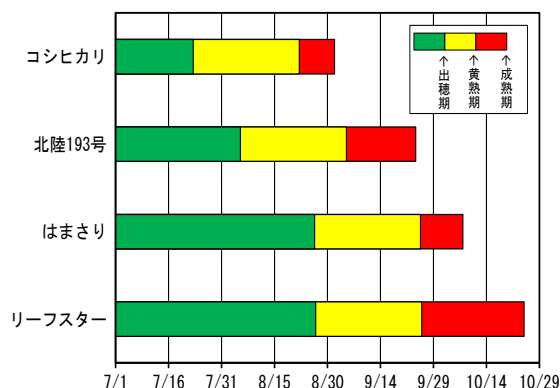


図1 各品種の出穂期と黄熟期

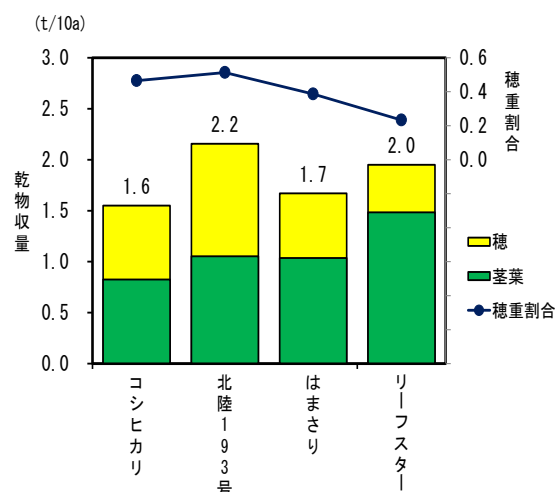


図2 各品種の乾物収量と穂重割合

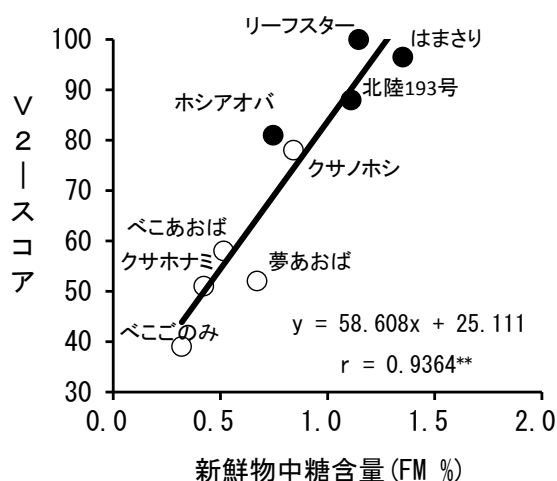


図3 糖含量と発酵品質